



2022年10月28日

各位

上場会社名 四国電力株式会社  
代表者 取締役社長 社長執行役員 長井 啓介  
(コード番号 9507、東証プライム市場)  
問合せ先 経理部 管理グループリーダー 松尾 寛  
(TEL 087-821-5061)

## 連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年7月29日公表の「2023年3月期 第1四半期決算短信」において未定としていた2023年3月期通期の連結業績予想について、下記のとおり、お知らせいたします。

### 記

#### ● 連結業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	855,000	△45,000	△30,000	△25,000	△121.00
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績(2022年3月期)	641,948	△13,517	△12,114	△6,262	△30.44

#### 修正の理由及び通期連結業績予想に関する定性的情報

##### (修正の理由)

ロシアのウクライナ侵攻以降、燃料価格の先行きは一層不透明な状況が続いており、通期の業績を見通すことが困難であることから、未定としていましたが、今回、一定の前提を置いて算定しました。

なお、期末配当予想については、今後の燃料価格の動向等に伴う収支影響を見極めることとし、引き続き「未定」といたします。

##### (通期連結業績予想に関する定性的情報)

売上高は、燃料費調整額や卸販売収入の増などにより、前年度に比べ、2,130億円増加の8,550億円と予想しています。

利益については、燃料価格の高騰等に伴い需給関連収支が悪化することなどから、前年度に比べ、営業利益は314億円悪化の△450億円、経常利益は178億円悪化の△300億円、親会社株主に帰属する当期純利益は187億円悪化の△250億円と予想しています。

なお、燃料価格高騰に伴い、燃料費調整額の算定諸元となる平均燃料価格が、燃料費調整の上限価格(=基準燃料価格の1.5倍)を超えていることに伴う通期の料金回収不足額(=当社負担額)は500億円程度と予想しています。

※ 業績予想数値を算出する際に使用した前提諸元につきましては、別紙をご参照ください。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

1. 前提諸元(通期)

(億 kWh)

	今回発表
小 売 販 売	232.4
卸 販 売	98.9
総販売電力量	331.3

	今回発表
石 炭 C I F (\$/t)	(430) 385
原 油 C I F (\$/b)	(95) 105
為 替 レ ー ト (円/\$)	(145) 139

( ) 内は下期

2. 2022年度見通しと前年度実績との差異内訳 (連結経常損益)

(単位：億円)

